

## 札幌学院大学社会情報学部研究業績 (2002年)

(共著者中の\*は、札幌学院大学社会情報学部教員をしめす)

### A : 著書・翻訳

A 0201 井上芳保：対抗的社会運動とルサンチマン処理文化，野宮大志郎編『社会運動と文化』，ミネルヴァ書房，pp. 103-134, (2002)

A 0202 高橋徹：意味の歴史社会学—ルーマンの近代ゼマンティック論，世界思想社，(2002)

### B : 雑誌

B 0201 井上芳保：心理主義化社会における社会臨床学の課題 (中)，日本社会臨床学会編『社会臨床雑誌』9巻3号，pp. 9-21, (2002)

B 0202 井上芳保：ホモ・アカデミクスの社会学の現代的課題，北海道社会学会編『現代社会学研究』15号，pp. 97-106, (2002)

B 0203 Yoshiyasu, INOUE\*, Eriko, FURUMURA, Yumiko, SOBAZIMA, Problems of Excessive Dependence on Counseling : Welfare and Gender Issues in Japan, International Household & Family Research Conference 2002, Helsinki, Finland, pp. 17-20, (2002)

B 0204 沖田庸嵩\*, 小西賢三, 今塩屋隼男：顔・物品・漢字の選択的記憶探索時における事象関連電位，社会情報，Vol. 11, No. 2, pp. 1-13, (2002)

B 0205 沖田庸嵩\*, 治部哲也：注意の両耳間切り換えと作動記憶—事象関連脳電位に関する検討—，心理学研究，Vol. 73, No. 5, pp. 399-404, (2002)

B 0206 Imashioya, H., Okita\*, T., Konishi, K., Iwaki, N., & Watanabe, R.: W

hat's in a face? The case of autistic persons — an investigation with the face related potentials —, 兵庫教育大学研究紀要, Vol. 22, No. 1, pp. 47-52, (2002)

B 0207 小内純子：住民主体の地域形成の試みと自治体，地域社会学会年報，地域社会学会，No.14 pp. 147-167, (2002)

B 0208 小出良幸：博物館における自然史の再評価，神奈川県立博物館研究報告 (自然科学)，No. 31, pp. 1- 8, (2002)

B 0209 小出良幸\*, 山下浩之, 平田大二, 菅井美里, 中村裕子, 前田信, 小嶋結：神奈川県大磯丘陵に産する火山岩の岩石的特徴，神奈川県立博物館研究報告 (自然科学)，No. 31, pp. 9-18, (2002)

B 0210 小出良幸：自然史教育のユニバーサルデザイン，神奈川県立博物館調査研究報告 (自然科学)，11, pp. 35-50, (2002)

B 0211 M. Fukase, T. Sato\*, R. Egawa, and T. Nakamura, "A Wave-Pipelined Biprocessor Achieving Remarkable Compatibility between Low Power and High Speed," Proc. of 10th NASA Symposium On VLSI Design, pp. 8. 3. 1-8. 3. 8, (2002)

B 0212 諸洪一：岩倉使節団の成立と大久保利通—大久保の洋行参入と「約定書」の成立をめぐる—，九州史学会編『九州史学』第134号，pp. 34-49, (2002)

- B 0213 諸洪一：明治六年の征韓論争と西郷隆盛一閣議決定と「勅旨」をめぐる一，日本歴史学会編『日本歴史』655号，pp. 75-91, (2002)
- B 0214 金明哲：助詞のn-gramモデルに基づいた書き手の識別，計量国語学，23巻5号，pp. 225-240, (2002)
- B 0215 金明哲：助詞分布における書き手の特徴に関する計量分析，社会情報，Vol. 11, No. 2, pp. 15-23, (2002)
- B 0216 長田博泰：社会情報の語用論的分析一判決文における逆接／譲歩，条件文の分析一，社会情報，札幌学院大学社会情報学部紀要，Vol. 11, No. 2, pp. 41-52, (2002)
- B 0217 Hiroshi MASUI, Yoshihide OH-BAYASI, Shigeyoshi AOYAMA, Akira OHNISHI, Kiyoshi KATO, Masaki CHIBA\*: Exploratory Study of Nuclear Reaction Data Utility Framework of Japan Charged Particle Reaction Data Group (JC PRG), Journal of NUCLEAR SCIENCE and TECHNOLOGY, supplement 2, pp. 1468-1471, (August 2002)
- B 0218 皆川雅章：Web ページを利用したCG教育（試行結果と課題），情報科学第22号，札幌学院大学情報科学研究部紀要，pp. 31-37, (2002)
- B 0219 H. Morita\*, M. A. Braun, C. Ciofi degli Atti and D. Treleani: Finite formation time effects in inclusive and semi-inclusive electro-disintegration of few-body nuclei, Nuclear Physics A699, pp. 328c-331c, (2002)
- B 0220 H. Morita\*, C. Ciofi degli Atti, D. Treleani and M. A. Braun: Final state interaction in  ${}^4\text{He}(e, e'p) {}^3\text{H}$  reaction-Study of finite formation time effects-, "Electromagnetic Interactions in Nuclear and Hadron Physics", Proceedings of the International Symposium, World Scientific, pp. 300-307, (2002)
- B 0221 中澤秀雄：江別市野幌地区における高齢社会への意識とまちづくり活動一活動の経緯と基礎的住民意識調査の報告一，社会情報，札幌学院大学社会情報学部紀要，Vol. 11, No. 2, pp. 65-75, (2002)
- B 0222 新國三千代\*, 田中讓：日本語活字文書画像を対象とする文字列検索手法のフォントロバスト性の検証，社会情報，札幌学院大学社会情報学部紀要，Vol. 11, No. 2, pp. 53-64, (2002)
- B 0223 山崎哲永：北海道の日本語一ことばに見る北海道らしさ，フォーラム人文第四号，札幌学院大学人文学部編 pp. 69-83, (2002)
- C：講演・口頭発表**
- C 0201 井上芳保：障害者解放運動の新しいかたち——「対抗」から「だつりょく」へ，障害学研究会関東支部 第29回研究会，東京都障害者福祉会館，2002年12月14日
- C 0202 沖田庸嵩：注意・記憶とERP，第23回事象関連電位（ERP）研究会，東京（全共連ビル），2002年1月
- C 0203 沖田庸嵩：セミナー「若手研究者とERP研究を考える」，第20回日本生理心理学会，早稲田大学，2002年5月
- C 0204 清水英樹，斎藤洋典，沖田庸嵩\*：自己関連情報に対する処理特性(2)一抑うつ傾向者の人物形容語に対する処理の特徴一，日本心理学会第66回大会，広島大学，2002年9月

- C0205 沖田庸嵩：シンポジウム「心理学的パラダイムの神経生理学への適用—事象関連電位と事象関連—磁場測定の見地から—」心理学的パラダイムと神経生理学—その関わりを考える，第32回日本臨床神経生理学会・学術大会，福島県立医科大学，2002年11月
- C0206 立花久大，木田安宣，武田正中，沖田庸嵩\*：ミニシンポジウム「潜在記憶（implicit memory）」事象関連電位からみた Parkinson 病の潜在記憶，第32回日本臨床神経生理学会・学術大会，福島県立医科大学，2002年11月
- C0207 大國充彦：「わいせつ」概念の変遷—刑法175条に関する判決文を対象として—，日本社会情報学会第7回大会，群馬大学，2002年11月
- C0208 小出良幸\*，山下浩之，平田大二：神奈川県西小磯海岸の大磯層の礫について，2002年地球惑星科学関連合同大会，2002年5月29日
- C0209 小出良幸：大学と生涯学習の地学教育における連携のあり方—実践的ケーススタディー—，日本地学教育学会第56回全国大会，2002年8月18日
- C0210 小出良幸：いま，なぜ，新しい科学教育が必要か？，「人と大地と」シンポジウム「博物館における新しい科学教育を考える」，神奈川県立生命の星・地球博物館，2002年9月14日
- C0211 佐藤和洋：教育コンテンツの標準化動向，（財）日本規格協会情報技術標準化センター主催コンテンツ配信調査研究委員会報告会，2002年1月
- C0212 佐藤和洋：情報設備環境と教育・学習環境の検討，第74回学部研究会，2002年11月
- C0213 金明哲：自己組織化マップと助詞分布を用いた書き手の同定及びその特徴分析，日本行動計量学界第30回大会，2002年9月
- C0214 金明哲：日本の計量文体学とコーパス学，中国修辞学会第11回学術年会国際シンポジウム，2002年11月
- C0215 高橋徹：再編される時間と抵抗する生活構造—明治改暦後の普及過程をめぐって—，日本社会学会大会第75回大会自由報告，大阪大学，2002年11月16日
- C0216 中澤秀雄：レバレッジされた公共性に対抗する住民投票運動，地域社会学会第27回大会シンポジウム，東京大学，2002年
- C0217 中澤秀雄：環境自治体は環境ガバナンスを編成できるか，環境社会学会春のセミナー，北海道下川町，2002年
- C0218 Nakazawa, Hideo\* and Naoyuki Mikami: Is Local Environmental Governance Possible: The case of Kamakura city, 14th World Congress of Sociology, Brisbane, Australia, 2002年
- C0219 長田博泰：「チャタレイ事件」判決における猥褻概念の論理分析，日本社会情報学会第7回大会，群馬大学，2002年11月
- C0220 皆川雅章：大規模積木問題のボトムアップ型解法に関する実験的考察，2002年度精密工学会春季大会講演論文集，pp.166，2002年
- C0221 皆川雅章：大規模積木問題の1解法（進化計算によるアプローチ），2002年度精密工学会秋季大会講演論文集，pp.273，2002年
- C0222 石川高行，高橋哲男，森田彦\*：visual programming 実習の実践と結

果, 2002 PC Conference, 早稲田  
大学, 2002年

- C0223 山崎哲永: 誤用の表現効果および言  
語的「トマソン」に関する覚え書き,  
北海道方言研究会第149回例会, 札  
幌市北区民センター, 2002年9月15  
日

#### D その他

- D0201 小出良幸: 書評: 岩石学概論・上記  
載岩石学—岩石学のための情報収集

マニュアル(周藤賢治・小山内康人  
著, 共立出版, 地学雑誌, 111(2),  
pp. 317, 2002年

- D0202 長田博泰: 社会情報解析の一つの試  
み, K通信, No. 12, pp. 6-7,  
栢森情報科学財団
- D0203 佐藤和洋: 教育コンテンツの標準化  
について, コンテンツ配信調査研究  
委員会報告, (財)日本規格協会情報  
技術標準化センター, 2002年3月